

## 第 2 1 期警防科を実施しました

[期 間] 令和 7 年 1 2 月 4 日（木）から 1 2 月 1 6 日（火）  
9 日間（7 2 時限）

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 警防行政の現状と課題を理解するとともに、各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場においては部隊を適切かつ効果的に指揮できる。

[教育対象] 警防活動に従事する指揮・指導的な立場の者で、消防大学の警防科修了歴がない者。

[修了者] 2 5 消防本部（局） 6 3 名



## 第21期 警防科日課表

月/日 曜		1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目	6時限目	7時限目	8時限目
		8:40～9:30	9:30～10:20	10:40～11:30	11:30～12:20	13:20～14:10	14:10～15:00	15:20～16:10	16:10～17:00
12/4	木	入校式	講話	消防戦術と安全管理1 (指揮隊運用及び大隊長の心構え)		警防対策1 (図上訓練技法)		警防行政の 現状と課題	災害現場の指揮 (訓練展示)
		学校教官	総括教官	消防大学校講師		中小担当支援教官		外部講師	全支援教官
12/5	金	消防戦術と安全管理2 (中小隊長の指揮)		警防対策2 (無線運用要領)		警防対策3 (指揮板等作成要領)		警防対策4 (報道対応要領)	
		草加八潮消防局		中小担当支援教官		指揮担当支援教官		全支援教官	
12/6	土								
12/7	日								
12/8	月	消防戦術と安全管理3 (安全管理)			緊急消防援助隊		消防戦術と安全管理4 (多数傷病者発生事故対応)		効果測定
		川口市消防局			さいたま市消防局		埼玉県中央広域消防本部		学校教官
12/9	火	図上訓練1 (中・小隊長主眼の図上訓練)				図上訓練2 (中・小隊長主眼の図上訓練)			
		中小担当支援教官				中小担当支援教官			
12/10	水	実技訓練1 (中・小隊長指揮訓練)							
		中小担当支援教官							
12/11	木	図上訓練3				図上訓練4			
		指揮担当支援教官				指揮担当支援教官			
12/12	金	実技訓練2 (指揮隊運用訓練)							
		指揮担当支援教官							
12/13	土								
12/14	日								
12/15	月	実技訓練3 (総合訓練)							
		全支援教官							
12/16	火	実技訓練4 (事例研究想定)						資機材撤収 校内服務	修了式
		全支援教官						学校教官	学校教官

講 話



消防戦術と安全管理(講義)



警防行政の現状と課題(講義)



警防行政の現状と課題(ドローン実技)



警 防 対 策



警 防 対 策



警 防 対 策



図 上 訓 練



図上訓練



図上訓練



訓練フィードバック



訓練フィードバック



実技訓練



実技訓練



実技訓練



実技訓練



総 合 訓 練



総 合 訓 練



総 合 訓 練



総 合 訓 練



総 合 訓 練



総 合 訓 練



最 終 訓 練



訓 練 修 了



## 第21期警防科 総代

戸田市消防本部 木目沢 光亮 学生

### 【修了しての感想】

学校教官、支援教官、警防科に携わっていただいた関係者の皆様、大変お世話になりました。

総代として不安がある中、副総代、分隊長、そして学生全員に支えられ警防科を修了することができました。

また、9日間という短い期間でしたが、講義、図上訓練、実技訓練、総合訓練とスモールステップ法による効果的なプログラムにより、学生63名全員が到達目標に達することができました。

個人的にはたくさんチャレンジしてたくさんの失敗をしましたが、仲間と支えあいながら、充実した中身の濃い時間を過ごすことができました。

今後も謙虚な気持ちを忘れずに消防人生を歩んでいきます。



### 【後輩へのメッセージ】

埼玉県消防学校の警防科は最高の学びができる場だと思います。教官、助教官から熱い指導を受け、学生同士で色々と検討を重ねながら、失敗を恐れずに何事にもチャレンジすることができ、自分自身の引き出しが増えていきます。

自己研鑽を行いながら最高の仲間と最高の時間を共にしてください。

## 第21期警防科 副総代

秩父消防本部 齋藤 孝幸 学生

### 【修了しての感想】

63名全員が、一人も欠けることなく無事修了したことに、ホッとしています。

副総代としては、総代のサポートに徹し、学生への周知・伝達など積極的に行い、総代への負担を少しでも軽くできるように心がけて行動しました。

警防科は、意外とかなり熱い専科でした。

職員の命を預かる大隊長という責務の重要性を学びました。その責務を全うするため、教官・助教の皆さんが必死に教え、学生とともに訓練していただきました。



これ以上殉職者を出さないため、悲しい思いをする人を増やさないため、待っている人の元へ帰るため。そのために、ずっと学び続けていきたいと思います。

最高位の警防科で学べたことを誇りに思います。

ありがとうございました。

**【後輩へのメッセージ】**

最初は不安や心配事が多くあると思いますが、期間は短いです。自分から積極的にコミュニケーションを取り、多くの仲間を作ってください。

困難を一緒に乗り越えた先に、手に入るものがあります。